

東町内会だより  
<2020年9月>

◎ 9月6日(日) 組長会議

新型コロナウイルスの拡大終息が見えていないため、今月も組長会議はテイクアウト方式(会館外で資料配布のみ)で実施しました。

※皆さんにはご迷惑をお掛けしますが、この形態は、終息方向性が見えるまで当分続けていく予定です。



「東町界隈の今昔探訪」

～3～

[文:安西 香(27組)、編集:畑中 祐一(38組)]

～立場の由来～

養蚕業が盛んだった明治の中期、中田の青木近右衛門が、おらが村のシルクロードと、いざ鎌倉への道が交差する角に、牛馬車を牽く旅人が休憩する場として立場<\*1>を開業し、食料雑貨なども商って<\*2>長い間人々に親しまれてきたが、時代の変転とともに立場の役割は廃れてしまった。

現在、泉区のほぼ中央に位置するこの立場は、今や本来の意味から離れてしまっただが、立場という地名で定着している。

これからは、交通の要衝として、また、商業の中心地として栄え続けることだろう。[泉区小史 いずみ いまむかし より]

市営地下鉄「立場」駅の昨年度の利用者は、11,000人/日といわれ、バスは放射線状に伸び、多くの人が買い物に訪れて賑わいを見せています。”立場”のある和泉東町内会はこうした環境の下、安心・安全でクリーンな街づくりを推進しています。 次回につづく



立場交差点(現在)

<\*1> 江戸時代、街道などで人夫が駕籠などを止めて休憩した場所を言う[広辞苑]が、ここでは、青木近右衛門が立場を開業し、馬止のために数本の杭を立てたのが語源と言われている。

<\*2> 当時はよろず屋で、食品のほか、漢方薬、雑貨、石油なども販売していたそうである。現在は、リカーショップタテバ(ヨークマート内の酒屋)として、子孫である青木壽之(かずゆき)さん(27組)が経営している。

<10月のイベント予定>

◎ 10/11(日)9:00～ 第34回和泉中央連合体育祭 ⇒ コロナの影響で中止します。